



なんとチャレンジド(株)、南奈良総合医療センター、吉野病院、医大病院
県総合医療センター、西和医療センター

銀行、病院で知的障害のある9人が就労！



西上浩史 なんとチャレンジド(株)代表取締役
高等養護学校卒業生2人/事務職



中川幸士 南和広域医療企業団企業長
松本正美 南奈良総合医療センター院長
高等養護学校卒業生2人/看護補助



岡山弘美 医大障害者雇用推進マネージャー
奈良西、西和、高等養護学校卒業生/看護補助



菊池英亮 県総合医療センター院長
高等養護学校卒業生/看護補助



横山和弘 県西和医療センター院長
高等養護学校卒業生/看護補助

県立奈良西、西和、高等養護学校新規卒業生9人は職場実習を繰り返し行い、なんとチャレンジド株式会社の事務職員、南奈良総合医療センター、吉野病院、県立医科大学附属病院、県総合医療センター、県西和医療センターの看護補助員として採用されました。

企業および病院トップの方から「人から当てにされ、役立ち、喜ばれるスタッフとして活躍を期待します！」等、激励のお言葉をいただきました。

いよいよ社会人としてのスタートです。就労したみなさんが1日も早く仕事を覚え、職場や患者さんのために活躍されることを応援します。

2010年、NPO法人ならチャレンジドを立ち上げて以来、障害者雇用が事業所のサービス向上、経営改善になると提案させていただきました。〈実習生の頑張り〉〈現場のあたたかい対応〉〈事業所の決断〉この3つが揃って、職場実習から就労への道が切り拓けました。

あらゆる職域で職場実習を取り組み、障害のある人の就労を応援させていただきます。

銀行、病院からのレポート

～職場実習から就労へ！～

6/1 奈良商工会議所

【講師】 西上浩史 なんとチャレンジド株式会社 代表取締役

「チャレンジドファーストのために！」



◎なんとチャレンジド株式会社（奈良市南京終町）

- ・平成30年8月、南都銀行100%出資子会社として設立
- ・平成31年2月、特例子会社として認定

【業務】手形・小切手帳発行、名刺作成、用度品管理発送、ゴム印作成
データ入力等

【社員数】14名（うち障がいのある者8名）

◎職場実習の開始：平成22年、南都ビジネスサービス（株）にて、
県立高等養護学校生徒を受け入れる

1. 採用にあたり

・3回の職場実習を経てから採用。それぞれの段階に応じて、目標、課題を設定。

・採用にあたり重要な3点は次のとおり

①業務遂行能力 ②素直さ、協調性 ③当社で働きたい意思（意欲）

*やりがいを持って長く働いてもらえることが大切です。

2. 仕事を進めるために・・・当社の3つのキーワード ①挑戦 ②協調 ③信頼

・業務マニュアルの作成：簡単、明瞭に（図、フローチャートを多用）

・朝礼、ミーティング、定例勉強会 *1分間スピーチを定例化

・“基本”を大切に・・・「繰り返し」「分かりやすく」

3. チャレンジド社員を採用して

・チャレンジド社員の成長：対人関係の自信、自らの意見を述べられる、働いている喜び。

・職場の活性化・・・マンネリ化した職場への良い刺激、“当たり前”を見直すきっかけとなる。

・南都銀行役員、管理職となんとチャレンジドが一体となり、障がい者雇用の態勢が出来た。

《今後の展開、課題》

(1) 業務の切り出し

①銀行本体との連携

②障がい者採用はゴールではなくスタート

③社外業務の受託を展望

(2) 社員のスキルアップ

(3) 人事考課制度、研修体制の整備



当社はスタートしたばかりです。

障害者雇用率達成は社会的責任ではありますが、それよりもまず、チャレンジド社員が一生懸命に働ける環境を整備し、成長する喜び、働いて給料をもらっている喜び、人に役立っていることを実感できる企業でありたいと願っています。

南都銀行役員、管理職と私たちなんとチャレンジドが一体となり、地域社会へ貢献できる企業をめざします。



【講師】岡山弘美 奈良県立医科大学障害者雇用推進マネージャー

「係員は奈良医大病院の力強い戦力！」

◎奈良県立医科大学障害者雇用推進係（橿原市四条町）

- ・平成26年4月、初めて知的障害者5人を採用
- ・平成27年4月、障害者雇用推進係を設置

以降、障害者法定雇用率を達成。平成30年6月は2.77%

【業務】病棟の看護補助、臨床検査部、薬剤部の業務等

【係員数】障害のある係員38人、支援員2人



1. 雇用の拡大と定着 *当初の壁は障害者へのネガティブな意識（事務系）

- ・看護部の協力で職場の拡大：タオル折り、病棟環境整備、点滴支柱清掃、シュレッダ等
- ・看護部から中央検査部、薬剤部へ拡大
- ・定着が重要と認識

- ①適性・・・実習で意欲、適応力を見極める
- ②適材適所・・・採用後も複数業務を体験し、適正な業務へ就く
- ③関係者の連携・・・現場責任者、支援員、マネージャー、支援機関

2. 信頼し、自立において

- ・係員へ看護学校生徒の実習を任せる
- ・係員が携帯電話を持つ・・・報告、連絡、相談がくる

3. 頼りにされる係員

- ・看護部長：「病棟ではなくてはならない存在であり、とても助かっています」
「私たちの指示が曖昧で具体的ではなかったことに気づきました」
- ・看護師、看護助手のみなさん：「すごく助かっています。休まれると困ります」
- ・患者さん：「医大病院を紹介されたんですが、玄関に入ることが怖くて、引き返そうかと、そんな気持ちでいたとき、元気な声、満面の笑みで挨拶をしてくださっている皆さんの姿を見て、私も頑張ろう！！と思いました。今、治療中です。辛いですが、皆さんから頂いたパワーで私も病気と向き合いながら頑張ります。ありがとうございます」



◎係員のみなさん

「患者さんに“ありがとう”と言われることがうれしいです」

「奈良医大で一生、働きたいです」 「患者さんのために仕事ができることがうれしいです」

〈係員のみなさんに気づかされて〉

当初から1年半は、全てが上手くいかず、係員との意思疎通ができなくて、支援者失格、辞めようかと思いました。しかし、心と心で向き合おうと決めました。

「障害者である前にひとりの人間として尊重する」

「素直、正直に関わる」

この気持ちを持つようになり、係員のみなさんが私を支えてくれるようになりました。

支援者が変われば、障害者雇用は進みます。

「任せる」「認める」「感謝する」これがすべての基本です。
係員の皆さんは、奈良医大病院にとって力強い戦力です。



卒業生のインタビュー

- ◎なんとチャレンジド株式会社 社員 Kさん（高等養護学校卒）
社員 Mさん（高等養護学校卒）
◎奈良県立医科大学附属病院 係員 吉田 竜彦さん（奈良西養護学校卒）



1. 今の仕事をしたいと思ったきっかけは、何ですか？

Kさん 事務の仕事をしたかったからです。

Mさん 高校の時に実習を重ねて職場のアットホームな雰囲気や細かい作業が自分に合っているなと思ったからです。

吉田さん 高等部2，3年の時マクドナルドやカフェ、スーパーなどで実習をしましたが、医大病院の方が働く時間が長く、先輩と一緒に働けて楽しいかなと思って医大病院で働きたいと思いました。

2. 仕事をしていて、気をつけていること、大変だなと思うことはありますか？

Kさん 失敗しないことです。

Mさん 少しでもミスをしてしまうと迷惑がかかるので、ミスをしないように何度も確認して作業することを心がけています。

吉田さん 気をつけていることは、出る前に左右を見て患者さんが来ないか確認してぶつからないようにしています。仕事を始めたときは覚えることがたくさんあって大変だと思いました。

3. 仕事をしていて、うれしいこと、楽しいことは何ですか？

Kさん 昼休憩のとき、食堂で社食が食べれることです。

Mさん 社会人になって実際に働いてみて自分も社会の一員として役立っていることを実感できてうれしいです。

吉田さん 窓拭きを先輩とするのが楽しいです。先輩がマジックリンを窓に吹き付けてその後僕が乾いたタオルできれいにふきとっていきます。

4. 初めての給料は何に使いましたか？

Kさん 親にご飯おごりました。牛井です。

Mさん 日頃、感謝している家族にお礼という意味も込めて食事をご馳走したいです。

吉田さん 4/19(金)にもらえてうれしかった。1週間位してATMにいったら1万円だけひきだしました。いつものようにお菓子やジュースを買いました。残りは貯金しています。

5. これからの目標はありますか？

Kさん 仕事内容をすべて覚える。

Mさん 仕事を早く覚えて一人前になれるように努力したいです。

吉田さん 先輩のようにベッドが上手にふけるようになりたい。1年後くらいには僕もできるようになりたいです。



6. 職場の方へ一言お願いします。

Kさん これからもよろしくおねがいします。

Mさん 一人前になれるように頑張りますのでご指導よろしくお願いします。

吉田さん 2ヶ月しかたっていないので、まだ覚えることがたくさんあると思います。これからもみなさんよろしくお願いします。

7. これから就労を目指す後輩たちへ一言お願いします。

Kさん メモをしっかりとろう。

Mさん 社会に出たら辛いことや努力しないといけないこともたくさんありますが、その分やりがいや生きがいなども見いだせると思いますので頑張ってください。

吉田さん 社会人になったら覚えることが山ほどあると思います。新しく職場に入って緊張するかもしれませんが、頑張って慣れるようにして仕事をしてください。



【参加者の感想】

このような集会に参加させて頂き、心暖まりました。心と心が合わさると、素晴らしい事が出来るんですね。竜彦を生んだ事、私の誇りです。これからがスタートですので、これからは謙虚な気持ちを忘れず、頑張ってください。みなさま、よろしくお願いします。

吉田竜彦の母

岡山さんの係員への向き合い方が大変参考になりました。1人の人間として尊重し、素直に関わる、任せる、認める、感謝する、どんな職場でも通じると思います。

3人の方のインタビューを聞いて、自分も頑張ろうと思いました。社会人として、社会の役にたっているという喜びを改めて自分を大切にしていきたいと思いました。

祝 奈良クラブバモスが全国準優勝!

・岐阜市 3/17

～第16回全日本知的障害者サッカー選手権大会‘19チャンピオンシップ～



全員が持てる力を発揮して、決勝戦では強豪・静岡県に対し3点ゴールし、準優勝!多くのみなさんの応援を力として、戦い抜きました。

「次回は優勝!」と選手たちは意気込んでいます。

〈第19回障害者スポーツ大会近畿大会 優勝!〉
近畿代表で、優勝をめざし全国大会へ出場します。

・10/12～14 ・茨城県

ちゃんこの会

【受付】高等養護学校1年生2人

【主催】大和高田市片塩商店街 3/2



大阪場所において、大和ガス株式会社(大和高田市)内で合宿中の鍛山(しころやま)部屋。約1000人が来場され、鍛山部屋のちゃんこを楽しまれました。生徒たちは商店街の役員のみなさまと一緒に迎えさせていただきました。

活動後、鍛山親方(元関脇寺尾)からサインをいただき、生徒たちは大喜びです。

第23回 春咲きコンサート

・なら100年会館 3/17

【スタッフ】奈良西、高等養護学校生徒、卒業生33人 【主催】春咲きコンサート運営委員会



生徒、卒業生ら33人は、受付、アート、ボウリング、輪投げ、景品交換コーナーのボランティア活動で活躍しました。楽しみながら、イキイキと活動し笑顔があふれていました。

ミラコン2018 ～未来を見通すコンテスト～

祝 第1回プレゼンカップ全国大会「表現力賞」

県立明日香養護学校高等部2年 山田彩花さん

主催：全国特別支援学校肢体不自由校長会 2019年2月

未来へ向かって



吉田育弘県教育長（左）、山田彩花さん

奈良県立明日香養護学校

山田 彩花

私は、2月初旬に行われた、ミラコン2018～未来を見通すコンテスト～第1回プレゼンカップ全国大会 FinalStage に出場し、表現力賞を頂きました。

この大会は、自分の夢や思いをプレゼンにまとめ、応募し、ICT機器を使って遠隔で審査してもらうコンテストです。

私は、足が不自由なので、幼い頃から治療のために、入退院を繰り返しました。辛いこともたくさんありましたが、同じような境遇の子たちと関わる中で、「人を助けたり、勇気づけたりする仕事に就きたい」と思うようになったことや、大好きな英語、手話などのいろいろな言葉で作詩をし、たくさんの人に笑顔になってもらえるような人になりたいという思いをプレゼンに込めました。

自分が作ったプレゼンを、応募し、審査してもらうことは初めてでとても緊張しました。ですが、少しでも聞いてもらっている人の心に響くように、構成や言葉選びを工夫したので、「表現力賞」という形で評価してもらえて、とても嬉しかったです。

この賞を糧に、これからも色々なことに挑戦していこうと思います。皆さんにも、もし、自分にできるか不安なことがあっても、まずはやってみて！という気持ちを伝えたいです！

よく噛んで健康に シリーズ 3

むし歯は ほっておくとたいへん！

今回は皆さんよくご存じと思いますが「歯医者がこわいからと言ってむし歯を治療しないままにしていれば、どんな悲惨なことになるか」について説明いたします。まず考えつくことですが

- 1) お水や熱いものがしみる！ 痛い！ ズキズキ痛くて仕事や夜寝ることもできない
- 2) 歯ぐきが赤くはれて、顔全体まではれあがって外に出られない
- 3) かむと痛いので食べ物を丸飲みする

実は歯につながる神経は脳に直結しており、体中で一番痛みを強く感じる神経なのです。つまり裏を返せば、生きる上で歯は最も大切な臓器ということになります。ライオンなど野生動物は歯が抜ける＝死ぬということですから。奥歯でしっかり噛めないと、小中学生の走る速度などの体力だけでなく、手先の器用さや国語・算数などの成績にも差があるといったデータがあります。できるだけ早く治療してしっかり噛めるように！



執筆は正田歯科院長（橿原市）です。次回は「噛むことで がんの予防に？」についてです。

ミュージックフェストなら 2019

5/8～6/9

【受付】奈良東、奈良西、西和、大淀、高等養護学校69人・30会場



ホール、神社、寺、公園等の30会場にて、特別支援学校生徒69人は受付スタッフとして来場者を迎えさせていただきました。県文化振興課、市町村、団体等のみなさま、ありがとうございます。

バンビシャス奈良 試合受付



【受付】奈良、奈良西養護学校、卒業生・奈良市中央体育館 2/3、17、3/3、24、4/14 生徒、卒業生たちは、日曜日のデイゲームにおいて、地元バンビシャス奈良の応援のため、会場の受付係をさせていただきました。

奈良公園バスターミナルで開催！

全国、海外の観光客へ発信！

キラリと輝く！ 特別支援学校アート展 2019

◎8月5日(月) 12時30分 開会式 ～ 14日(水) 〈毎日9時～18時30分〉

◎奈良公園バスターミナル 東棟1階 (県庁の東隣 近鉄奈良駅 徒歩10分)

特別支援学校と病院を結ぶ！ 奈良県立医科大学附属病院アート展

◎8月19日(月) 12時30分 開会式 ～ 24日(土) 〈毎日9時～19時〉

◎県立医科大学附属病院 BC棟2階廊下 (橿原市四条町840 近鉄八木西口駅 徒歩10分)

なら特別支援学校アート展応援団 ～アート展開催のため寄付をお願いします～

市民の寄付金でアート展を運営(チラシ、ポスター印刷費、看板費等)しています！

【口座】奈良中央信用金庫南奈良支店 普通 0298508 南都銀行大宮支店 普通 2182307

ゆうちょ銀行 振替口座 00930-2-237445

【名義】なら特別支援学校アート展応援団 代表 市場三喜(いちば みつよし)

